



- 国際会長主題:輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen(デンマーク)
- アジア太平洋地域会長主題:新しい時代とともに、エレガントに変化を Chen Ming Che (台湾)
- 東日本区理事主題:未来に向けて今すぐ行動しよう 佐藤 重良(甲府 21)
- あずさ部長主題:ワイズへの参加と交流を楽しもう 後藤 明久(富士五湖)
- 甲府やまなみクラブ会長主題:準備を整えよう! 藤原 一正

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2023年 3月
No.6

●今月の強調目標
CS・Green Project
・ワイズメネット

●今月のことば
「人に対して強くなりました。」

高校時代の後輩の言葉

遠藤 恭範 君選

今月の例会案内(第6回)

- 日時:2023年3月1日(水) 18:30~20:30
- 会場:ホテル談露館
- 司会:米山 俊彦 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 遠藤 恭範 君
- ・ワイズディナー
- ・会員卓話 菅沼 和也 君
「行政書士早わかり」
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告、役員会
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo of monthly



2月11日(土)、やまなみクラブとしては初めての、あずさ部第2回厄除け評議会に出席(於:ホテル談露館)

2月のデータ

会員数:11名 例会出席:8名
例会出席率 73%
ゲスト:2名(大澤祥子様・橋本晶子様)
ニコニコ:2,491円

ハッピーバースデー

メン 遠藤 恭範 (3/3)・三井雅之(3/26)

アニバーサリー

米山 俊彦・千恵 (3/25)
仙洞田安宏・克子 (3/27)

今月のことば 遠藤 恭範
高校生の時にラグビー部に入っていました。甲府を離れて社会経験を積み、甲府に戻って数年後、部活の後輩に再会しました。「ラグビーをされていて何が良かったか?」という僕の問い掛けに、後輩は『人に対して強くなりました』と答えてくれました。「仲間が出来た」「心身が鍛えられた」などの言葉が返ってくるかと思っていたので意外に感じたのですが、ラグビーは激しいコンタクトスポーツです。全速力で向かってくる大男をタックルで止めてチームに貢献する!という場面の連続です。
「人に対しての強さ」ということを具体的に思わず過ごしていましたが、「ビジネスや交渉事など人を前にしてココだけは!!」という場面は良くあります。
後輩の言葉を聞いてから、そんな場面も「全速力で向かってくる大男にタックルする」ことに比べれば大した重圧は無いなど考えることが出来るようになった言葉です。

●●●● 2月例会報告 ●●●●

仙洞田安宏

2月1日(水)、やまなみクラブにとって初めてのTOF例会が、山梨YMCAにおいて開催されました。司会は仙洞田が務め、藤原会長の点鐘によって定刻通り開会しました。

今月の言葉は松本公夫さん、人生の悩みを抱えていた若い頃、今は亡き奥様からの助言の一言、それは新婚旅行で訪れた京都の寺院に掲げられていた人生訓でした。TOFということで、ディナーはおにぎりで簡単に済ませました。

今月のメインプログラムは、担当主事の福田奈里子さんによるYMCAの紹介です。やまなみのメンバーにはチャーター前の準備例会の段階で、YMCAについての説明をしているものの、実際のYMCAを感じてもらった方が理解が深まると企画しました。YMCA運動の歴史から始まり、山梨YMCAで現在取り組んでいる事業について紹介がありました。



諸報告では、①会計の遠藤恭範さんから、会則に従い前期の会計報告と後期の見通し ②3月、4月の例会プログラムについて ③今後の行事予定への参加確認、等がありました。また、松本クラブのファンド事業である「土佐文旦」をクラブで購入し、参加者で分けました。閉会点鐘の後、YMCA会館内を福田さんに案内していただき、そのまま解散となりました。

出席:藤原・松本・米山・遠藤(恭)・渡邊・三井・仙洞田・福田、ゲスト:大澤祥子・橋本晶子(元長野クラブメネット)(敬称略)

第2回あずさ部厄除け評議会報告

米山 俊彦

2月11日土曜日、「第2回あずさ部評議会」がホテル談露館において開催され、松本副会長、仙洞田さんとともに、参加をしました。

前日の10日は、甲府で114cmの積雪を記録した2014年の大雪以来の20cmを超える積雪となり、どうなることかと思いましたが、当日は天候に恵まれ、東京、長野、山梨の11クラブ50名を越える評議会となりました。

あずさ部では、評議会にサブタイトルをつけるのが恒例になっているとの事で、今回の評議会は、2月13日と14日に行われる塩沢寺の厄除地蔵尊大祭に因んで「厄除け評議会」と命名した経緯の説明が、今回のホストクラブである甲府クラブの田中克男会長から歓迎の挨拶の中でありました。

あずさ部の後藤明久部長からは、新型コロナウイルスに負けることなく、例会ではZOOMも併用している富士五湖クラブの活動や神戸で行われた東西日本区交流会へ参加した事を踏まえて、やはり、顔を合わせる事が大切で、交流会や懇親会を積極的に行ってほしいというお話がありました。

また、佐藤重良東日本区理事は、挨拶の中で、会員の高齢化によってクラブ数が減少傾向にある事について触れられ、会員増強への更なる協力を求めているというお話をされました。

議案審議では、7月から始まる2023-2024年度のあずさ部役員選任等の案件がそれぞれ承認されるとともに、各活動報告が行われ、当クラブからは、急用が出て欠席となった藤原会長に代わって松本副会長がクラブ設立後の活動状況について報告を行いました。

卓話は、甲府で40年以上に亘って在宅ホスピスケアの啓発に努めておられる「ふじ内科クリニック」の内藤いづみ院長と甲府市出身のシンガーソングライター・チャンティーさんによるコラボレーション「いのちの響きにのせて」が行われました。



内藤院長からは、人のつながり“縁”が大切であるという事とともに、「いい塩梅(あんばい)」という言葉大切にしていきたいというお話がありました。「白」か「黒」か、「ゼロ」か「100」かではなく、「物事をいい塩梅で進める」という考え方には、自分も相手も責めない優しい許しのりしろがあるというお話で、人のつながり“縁”を大切にするという事に繋がっていくのだと思いました。最後は、チャンティーさんの伴奏に合わせて、参加者全員で「見上げてごらん夜の星を」を合唱して、卓話の締めくくりとなりました。

懇親会で私は、東京武蔵野多摩クラブ、東京たんぼぼクラブの方と同じテーブルになり、東京たんぼぼが女性限定のクラブである事や品川区から東京武蔵野多摩へ参加している事など、東京のクラブの活動状況等についても伺うことができた楽しい懇親会でした。

東西日本区交流会に参加して

藤原 一正

去る2月3日、4日に神戸の地のANAクラウンプラザホテルにてワイズメンズクラブ東西日本区交流会が開催されました。日本の地域は東西の地区として分かれて25年の年月が経つとのことで、今回が3回目、コロナ後に最初に開催された東西交流イベントとのことでした。

1日目は4奉仕団体のパネルディスカッションがあり、ロータリー、ライオンズ、キワニスとワイズメンズクラブの代表の方々が今後の方針、団体の方向性について議論をする場が設けられました。どのクラブも奉仕団体として会員減少が大きな課題であることが共有され、相互のクラブの交流案なども提案されていました。

夜は、同会場にて多くの方々が集まり懇親会が開催されました。久しぶりに数百人のパーティーに参加することができ非常に楽しかったです。同じテーブルには、甲府クラブと兄弟クラブである、和歌山クラブの神谷尚孝様をはじめ、宝塚、鹿児島などのクラブの方と一緒にでした。懇親会終了後には、甲府21クラブのメンバーでJC時代の後輩と神戸の街で楽しめたことも良い思い出です。

2月例会ニコニコメッセージより

- ▼山梨YMCAの知らなかった歴史を学び良かった。
(松本公夫)
- ▼YMCAの活動内容がよくわかり、大変良い例会でした。YMCAのプログラムにも是非参加したいと思います。
(三井雅之)
- ▼初めてのTOFでした。食事ができることを感謝するとともに、いろいろな環境にいる人たちに思いを馳せ、自らの行動を考えるきっかけにしたいと思いました。
(米山俊彦)
- ▼今月は少しゆっくりできたらと思っています。
(藤原一正)

行事予定

- ✓3月4日(土)・5日(日)
- ・次期クラブ会長・部役員研修会(御殿場市・東山荘)
- ✓4月5日(水)
- ・4月例会 (ホテル談露館)
卓話・インボイス制度について
- ✓5月10日(水)
- ・5月例会 (ホテル談露館)
- ✓5月13日(土)
- ・あずさ部第3回評議会 (松本市)
- ✓6月3日(土)・4日(日)
- ・第26回東日本区大会(アピオ甲府)
- ✓6月10日(土)
- ・第25回山梨YMCAチャリティーラン

2日目はエクスカージョンなども開催され、私はYMCAのユースの発表を見ておりました。山梨YMCAのユースの発表もあり、昨年実施した、「清走中」の活動などを堂々と発表されていてよかったと感じました。今後も山梨のYMCAの活躍を期待したいと思います。

このように様々な交流の場としてイベントが開催され、盛況のうちに終了したことをご報告いたします。

参加者は全体で430人ほど、甲府やまなみからは、仙洞田、藤原、担当主事の福田さんが参加しました。



【懇親会で和歌山クラブの神谷尚孝さんと】

今月の強調目標

CS (Community Service)

地域社会・隣人への奉仕活動。各クラブは、地域のニーズや支援するYMCAの活動に対応した独自のCS活動を行うとともに、国際協会、アジア太平洋地域、区・部のCS活動に積極的に参画する。

ワイズメネット(Y s Menettes)

男性会員のパートナー。女性会員のパートナーの呼称は未定。ワイズメネットたちがワイズ活動を支援するために、ワイズメネット会を組織しワイズメンズクラブ支援事業と独自の活動を行っている。

(2022-2023東日本区ハンドブック・ワイズ用語より)

Green Project

ワイズメンズクラブ国際協会は、2010年8月に横浜で開催された第69回国際大会において、地球環境保護への取り組みを進め、カーボンニュートラル(活動に伴う温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる)な組織となることを決意した「横浜宣言」を採択しました。これを実現するために、国際大会、地域大会参加者に一定のカーボンニュートラル献金を求めたり、主にYMCAの様々なプロジェクトを支援したりしてきました。プロジェクトの例としては、YMCA施設へのバイオガスプラント・コンポストシステム導入、照明のLED化、太陽熱温水システム・太陽光発電システムの設置などがあります。

(東京多摩みなみクラブブリテン2022年4月号より引用)



山梨 YMCA 総主事

「夢」をかたちに

中田 純子

2023年1月31日、高齢者事業「ぶどうの木」が地域開発による事業閉所を迎えました。多くの方々にはささえられた10年に感謝と共に心の引継ぎを実感しました。どんなことにも誕生があり終わりが存在します。総主事1年目に事業所の終わりに立ち会う事に心痛を感じていましたが、そうではなく次の夢の誕生の訪れを待つ祈りの時間を与えられたのだと心引き締まる瞬間でした。

2月に入り、コロナ禍の影響で3年越しとなった山梨での全国総主事会議が8日から10日まで開催され無事に終わることが出来ました。全国の総主事をお迎えするにあたりこれまでに体験したことのない緊張感がありましたが、総主事1年目に皆様をお招きできました事に喜びと共に感謝がこみ上げ、守られている瞬間でした。

また、2月の第3水曜日は「ピンクシャツデー」でした。第3週目をピンクシャツウィークとし、いじめについて深く考える時間を持ちました。そこで児童発達支援事業に通う児童たちから「いじめをなくそう、を大人に伝えたい。自分たちの生活を支えてくれている市役所の偉い人に訴えて聞いてもらいたい」と意見がでました。私たち大人は、この声を実現に導くため、甲府市へ相談しました。市は早急な対応で21日の火曜日に市教育長へ訴える機会を作って下さりこどもの願いが叶った瞬間でした。放課後児童クラブ、児童発達支援事業放課後等児童クラブのこどもたちは商店街を歩き、いじめの撲滅を訴え、ポスター掲示のお願いに回り多くの商店にご協力いただきました。

地域と共に歩む私達は、多くの人々につながり・可能性にあふれた地域と協働していきたいと考え、地域社会がよくなっていく未来を創造します。未来への夢の可能性があふれる今、夢を描き続ける人がつながってゆけば、その働きは永遠であると実感し、みんなの夢の実現を形にしていきたいと祈りを守り月となりました。



【全国総主事会議】



【ピンクシャツデーで甲府市役所を訪問】



【甲府の商店街をパレード】